

## 第2回独立行政法人情報通信研究機構契約監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成24年3月22日(木) 午後1時30分～3時35分 情報通信研究機構麹町第2,3会議室
出席委員 (敬称略、50音順)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加藤 暢一 公認会計士(新日本有限責任監査法人)</li> <li>・渋谷 道夫 公認会計士(渋谷道夫事務所)</li> <li>・手塚 悟 東京工科大学コンピュータサイエンス学部教授</li> <li>・名越 秀夫 弁護士・弁理士(生田・名越・高橋法律特許事務所)</li> <li>・林 弘 情報通信研究機構監事</li> <li>・松井 武久 MTRC技術経営研究センター所長</li> <li>・松田 修一 早稲田大学ビジネススクール教授</li> <li>・山本 一晴 情報通信研究機構監事</li> </ul>
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 理事挨拶</p> <p>3 議 題</p> <p>(1)平成23年度契約実績に対する審議</p> <p>事務局から以下の説明があり、競争性のない新規随意契約案件(14件)及び2か年連続して一者応札・応募となった案件について報告を基に点検・確認を行った。</p> <p>ア 競争性のない随意契約について</p> <p>真にやむを得ないもの(43件)を除き、一般競争入札等に移行した。また、平成23年度新規案件(14件)についても、東日本大震災に基づくもの等である。</p> <p>イ 一者応札・応募の改善について</p> <p>一者応札・応募の改善に向けた取組み(①仕様内容の適正化、入札参加条件の緩和 ②公告期間、業務等準備期間の確保 ③調達情報の充実 ④一者応札・応募の事後点検など)を実施した。</p> <p>2か年連続して一者応札になっている案件については、「一者応札・応募事案フォローアップ票」により報告をした。</p> <p>事務局からの説明後報告内容が確認され、委員から以下の意見等があった。</p> <p>[意見等]</p> <p>①随意契約に関し、契約履行確認時において、より適確に内容を確認する資料を事業者から徴取することなどを検討すべき。</p> <p>②事業者に対するアンケート実施について、調査内容の改善は認められるが、調査内容の充実を含め更なる改善を検討すべき。</p> <p>③入札参加要件の業務実績による制限は、リスク管理の必要性もあるが契約内容等に応じて柔軟に対応することも検討すべき。</p>

④ 応札者拡大につながる電子入札の積極的導入に向け、種々の観点から検討すべき。

(2) 契約監視委員会による点検・見直し結果の審議

以下の項目について意見を取りまとめ、委員長の確認を受けることとした。

- 1 機構の見直し計画について
- 2 競争性のない随意契約について
- 3 一者応札・応募案件について
- 4 要望等

4 閉 会